

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1 『栄養士のための標準テキストシリーズ、運動生理学』	共著	1996年3月	金原出版	編集 久木野憲司、穠吉 敏男、ほか 担当部分 「運動処方と運動療法」 庄野菜穂子 pp.152-198 栄養士に必要な運動生理学の知識を解説した教科書であり、運動処方と運動療法の基本的な事項と病態別の注意点について解説した。
2 『スポーツ栄養の実際』	共著	1996年11月	文光堂	編集黒田善雄、中島寛之、高澤晴夫ほか 担当部分「運動・スポーツによる脂質代謝」 熊谷秋三、 <u>庄野菜穂子</u> 、 pp.53-60 運動という刺激が急性および慢性に生体の脂質代謝に及ぼす影響について先行研究および我々の研究成果を用いて解説した。
3 “Exercise for preventing Common Diseases”	共著	1999年12月	Springer Verlags	編集 Tanaka H, Shindo M, et al 担当部分 ‘Possible relation between skeletal muscle morphology and the lipid profile in healthy Japanese men.’ <u>Shono N</u> , Mizuno M, Nishida H, Higaki Y, Tanaka H pp.174-180 骨格筋の形態学的特性と生活習慣病との関連についてと先行研究を紹介し、血中脂質プロファイルとの関係性をに関して、日本人健常男性を対象とした研究結果を紹介した。
4 『知ってほしいスポーツ食事学』	共著	2000年12月	医療法人鶴田整形外科医院	鶴田敏幸、 <u>庄野菜穂子</u> 、江口美智子 担当部分 pp.1-26 一般むけの教育教材。スポーツを行う子供から成人まで幅広い対象に役立つような、日常の食事、試合や練習前後の食事について、具体的な食事の写真を使用して解説した。
5 『ライフスタイルブック』	単著	2001年11月	音成印刷	<u>庄野菜穂子</u> pp.1-41 一般および患者むけ教育教材。生活習慣やライフスタイル全般について振り返り、動機付けになることを目的として、著者自身が撮影したイメージ写真と散文形式で構成した。
6 『標準栄養学講座 運動生理学』	共著	2002年	金原出版	編集 村木里志、久木野憲司ほか 担当部分 「運動処方と運動療法」 <u>庄野菜穂子</u> pp.101-136

7 『循環器医が治療する糖尿病と大血管障害』	共著	2004年	メジカルビュー社	<p>栄養士を含めたコメディカル、学生むけの教科書。生活習慣病の予防や治療にもちいる運動処方と運動療法の理論と実際について解説した。</p> <p>編集 与田浩之、野出孝一ほか</p> <p>担当部分 「運動療法」 庄野菜穂子 pp.277-279</p> <p>専門医向けの専門書。大血管障害を予防するための運動療法の理論と実際についての概要を解説した。</p>
8 “SAGE, Current Technologies and Applications”	共著	2005年	Horizon Bioscience	<p>St-Amand J, Tanaka H, Shono N, Snyder EE, Shindo M, Yoshioka M.</p> <p>担当部分 ‘SAGE identifies transcripts involved in enhanced performance of endurance athlete’s muscle.’ pp.265-279</p> <p>遺伝子解析に関する技術とその応用について書かれた研究者向けの専門書。持久的競技者の競技力と関連のある骨格筋の遺伝子転写分析手法について解説した。</p>
9 『新・目でみる循環器病シリーズ』	共著	2006年11月	メジカルビュー社	<p>編集 野出孝一ほか</p> <p>担当部分 「冠危険因子ー肥満」 庄野菜穂子 pp.114-123」</p> <p>研修医や開業医向けの専門書。循環器疾患の危険因子として、肥満の疫学、病態、リスク、評価方法、介入方法などについて解説した。</p>
10 『少年スポーツ指導者教本』	共著	2006年3月	佐賀市市民スポーツ課	<p>編集 池上寿伸、石橋千和ほか</p> <p>担当部分 「スポーツによる内科的障害」pp.22-24、「スポーツと栄養」庄野菜穂子 pp.78-83</p> <p>指導者や保護者向け教本。少年期のスポーツ指導にあたって必要な内科的障害、食事や飲料についての解説した。</p>
11 『これ1冊でわかる生活習慣病ガイドブック』	共著	2007年5月	医療法人鶴田整形外科医院	<p>道下竜馬、庄野菜穂子 pp.1-33</p> <p>患者むけの教育教材。内科的生活習慣病の病態や予防方法について、図や写真を用いてわかりやすく解説した。</p>
12 『質問力で磨く保健指導』	共著	2008年10月	中央法規出版	<p>編集 坂根直樹、佐野喜子ほか</p> <p>担当部分「運動・食事・ストレスケアによる包括的個別支援」庄野菜穂子 pp112-117</p> <p>医師、コメディカルむけ専門書。保健指導も心身両面、内科および整形外科的な問</p>

13 『健康づくりトレーニングハンドブック』	共著	2010年 2月	朝倉書店	<p>題点から包括的な視点が必要であり、具体的な支援方法、注意点、成果について紹介した。</p> <p>編集 進藤宗洋、田中守、田中宏暁ほか</p> <p>担当部分「糖尿病と健康づくり」<u>庄野菜穂子</u>、<u>桧垣靖樹</u>、<u>藤谷順三</u>、pp368-384</p> <p>運動指導者、コメディカル、医師向けの専門教育書。糖尿病の病態、運動指導上の留意点について、最新の科学的根拠にもとづき具体的に解説した。</p>
14 『日常診療に役立つ運動指導と生活指導 ABC,健康スポーツ医からのアドバイス』	共著	2010年 3月	メジカルビュー社	<p>編集 日本医師会健康スポーツ医学委員会</p> <p>担当部分「症例;高血圧症、糖尿病、高中性脂肪血症、高LDLコレステロール血症、肥満、メタボリックシンドローム」<u>庄野菜穂子</u>、pp28-33</p> <p>医師およびコメディカル向け教育書。運動と生活指導による改善効果の得られた生活習慣病の症例について紹介し、指導方法や注意点を説明した。</p>
15 『内科学 学習ノート』	単著	2013年 3月	ライフスタイル医科学研究所	理学療法士・作業療法士を目指す西九州大学リハビリテーション学科限定の内科学に関するオリジナルテキスト
16 『神経内科学 学習ノート』	単著	2013年 3月	ライフスタイル医科学研究所	理学療法士・作業療法士を目指す西九州大学リハビリテーション学科限定の神経内科学に関するオリジナルテキスト
17 『整形外科学 学習ノート』	単著	2013年 3月	ライフスタイル医科学研究所	理学療法士・作業療法士を目指す西九州大学リハビリテーション学科限定の整形外科学に関するオリジナルテキスト
18 『少年スポーツ指導者教本 2018改訂版』	共著	2018年 3月	佐賀市・佐賀市教育委員会	<p>スポーツクラブ指導者や保護者むけに、スポーツ傷害、健康管理、メディカルチェックについて解説した。</p> <p>担当部分:p16-17,p32-35,p47-48,p50-66,p98-101</p>
19 『病態治療学 学習ノート』	単著	2019年 3月	ライフスタイル医科学研究所	看護師・保健師・助産師を目指す西九州大学看護学科限定のオリジナルテキスト
20 『健康管理学 学習ノート』	単著	2021年 3月	ライフスタイル医科学研究所	健康運動指導士等を目指す西九州大学健康福祉学科限定のオリジナルテキスト

21 『運動処方・運動負荷試験 学習ノート』	単著	2021 年 3 月	ライフスタイル医科 学研究所	健康運動指導士等を目指す西九州大学健 康福祉学科限定のオリジナルテキスト
---------------------------	----	---------------	-------------------	-----------------------------------------